

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		動ける利用児と動きが少ない利用児のスペースを分けたり、注入時は分けて行うなど安全面に配慮している。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		利用児に合わせて職員が付いたり介助するなど、必要な人員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		施設内は全面バリアフリーとなっている。パーテーションでスペースが仕切ってはいるが、フロアは全体が見渡せるようになっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		現場が円滑に回るようにその日ごとの現場リーダーを決めて、職員の休憩や送迎、利用児のケアなど確実にこなすように努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	保護者向け評価表の活用や、保護者等との会話にて意向の把握は行っているが、地域交流や家族会の交流については、コロナの影響で行えていない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	第三者による外部評価は行えていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		毎月「ケース会議」として、個々に合わせた関わり方や介助方法、疾患などの情報を共有・確認している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		保護者や利用児のニーズを把握して、寄り添った支援が行えるように個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>	現在、児施設では必要としていない。

	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		保育士、児童指導員、作業療法士、支援員など様々な職種の職員が、活動プログラムの立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		固定化しないように日々の活動プログラムを計画し、保護者にも周知している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		児童発達支援と放課後等デイサービスの活動プログラムを分けて立案しているが、児童発達支援の活動への参加も行うことはある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○	学年や学校により下校時間が違うこともあり、利用児の状況に応じて、個別や集団を使い分けることは現状難しい事があるため、今後きめ細やかな対応を行っていききたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○	朝礼で情報共有を行っているが、出勤時間が異なる職員には申し送りノートや口頭で必要事項については伝える様に努めている。支援開始前に必ずとは言えないため、徹底していききたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	記録には残している。気づいた点や大切な事は申し送りノートなどで共有しているが、全体で毎日の打ち合わせまでは行えていない。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別支援記録や全体の日報にて、日々の記録をとっている。大切な事は早急に、急を要さない事については毎月のケース会議で取り上げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○	判断をすることはあるが、支援者目線になってしまっていないかと不安になる時もある。利用児や保護者の思いに寄り添って、見直しの必要性を判断していききたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		オンラインのサービス担当者会議に参加した。個々に合わせて、必要な職種の職員が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○	学校によっては、学校の情報を事業所に直接共有する事が出来ないところもある。

携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		指示書にて医療的ケアの指示を受けたり、必要に応じて連絡を取り合えるようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援から継続して利用していただけることに有難く思っている。新規の方は、他事業所とも連携を取り情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	今後、必要に応じて情報共有していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		オンラインの研修など、業務に差し支えない範囲で無理なく参加させていただいている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	以前は児童館に行っていたが、コロナの影響もあり最近は行けていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	そのような機会がない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		主に連絡ノートやLINEのメッセージなどで、その日の様子を伝えている。電話で話すこともあり、共通理解を持てるように努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	現在は必要とする利用児がいないと認識しているが、必要が生じた時には行っていきたい。
保護者への説明書	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時にチェック表を用いて、伝え忘れがないように行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日頃から、保護者との会話を大切にしている。その中で、利用児の事についてはお互い意見を出し合ったり思いを聞きながら、同じ方向を向いてより良い支援を行えるように努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	コロナの影響で行えていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	苦情については職員間で共有して改善に努めるようにしてはいるが、保護者に周知までは出来ていない。今後必要に応じて、行っていきたい。

責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月に1回、通信の発行を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナの影響で行えていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	職員間でも保護者へも、周知の強化をしていく必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		様々な場合を想定して毎月避難訓練を行っている。避難や救出については、今後強化していく必要があると思っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	今後行う予定がある。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		医療的ケアの際や座位保持の際など必要になる事が多いため、詳細な状況の説明も交えて伝える様にしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		食物アレルギーのある利用児については、その食材を除去した弁当の注文を行う事で対応している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		書面に残して情報共有したり、会議にて全体で対策を再考案することで、再発防止に努めている。	